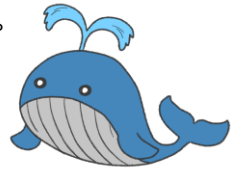


水中にすむ動物を仲間分けしてみよう

地球館の1階には、水中にすむ動物の剥製や骨格標本がたくさん展示されています。これらの動物は、どのような体のつくりをしているのでしょうか？また、どのように生活しているのでしょうか？

観察したり、資料で調べてみたりして、共通点や異なる点を探し、見つけた動物を仲間分けしてみましょう！



いろいろな動物
がいますね…。
どんなところに
注目して観察し
たらいいかな？



地球

館

1

階

6・7

光合成生態系・化学合成生態系



1

海にすむ動物たちの共通点



展示されている動物たちの体のつくりや移動の方法など、共通するのはどんなところかな？

例えば、入って左側（海藻側）「光合成生態系：沿岸（温帯域）の生きもの」の展示番号34「ショウジンガニ」と展示番号38「イセエビ」など、2つの動物を自由に選んで共通する点を見つけてみよう。



体の表面や移動の方法など、注目する特徴を決めてみましょう。

地球

館

1

階

6・7

光合成生態系・化学合成生態系



2

海にすむ動物たちの異なる点



展示されている動物たちの体のつくりや移動の方法、食べているものなど、異なっているのはどんなところかな？



天井のジンベエザメとハチワレは、同じ「サメの仲間」ですが、体やひれ、口などの大きさ・形、食べているものなども同じかな？

図鑑やインターネットを使って、もっと詳しく調べてみると、新しい発見があるかもしれませんぞ！



同じフロアの奥へ進もう



3

水中にすむいろいろな動物たち

展示されているものだけでも、たくさんの動物がいるね…
体が大きい動物と小さい動物や見た目が全然違う動物の間にも、共通点はあるのかな？



展示されている動物を3つ選んで、表にまとめてみよう！

動物の名前			
注目した点			
体の表面			
移動の方法			



海にすむ動物たちを仲間分けできたかな？気付いたことをまとめてみよう！



感じたこと

わかったこと

考えたこと



例えば、「マダイ」や「スルメイカ」の仲間にはどんなものがあるかな？
自分なりの理由を挙げて説明してみよう。



新たな疑問

もっと知りたくなったこと

年

組

番

氏名